

| 日比谷 | 銀座 | 築地 |

多様な芸術が集積したまちを

グルメ&ショッピングとともに

トータルに世界に、全国に発信します！

東京アート&ライブシティ プロジェクト!

「東京アート&ライブシティ」構想実行委員会

2018年2月21日

世界に類を見ない日比谷・銀座・築地のまちの特長

○ ここにしかない“ 芸術 ”の集積

- 能楽、歌舞伎、宝塚からミュージカル、演劇、オペラ、そしてクラシック音楽まで、多様な劇場・ホールが集積。ジャズやシャンソンなどのライブスポットも存在。
- 古美術から近現代美術まで、ギャラリーや企業美術館など、200近くの美術の拠点が存在。映画館も多数点在。
- この多様で複合的な集積は日本固有であり、世界に類を見ない。

○ “ 食 ”の集積

- 和食からフレンチ、中華、エスニックまで世界の多様なグルメが集積。
- 料亭やミシュランレストランから、バーから大衆居酒屋まで多数。

○ “ 大人の文化 ”の集積

- 百貨店から専門店などショッピング、ハイクラスホテルなどが集積。
- 大人のデイ&ナイトライフの基盤が既に存在している。

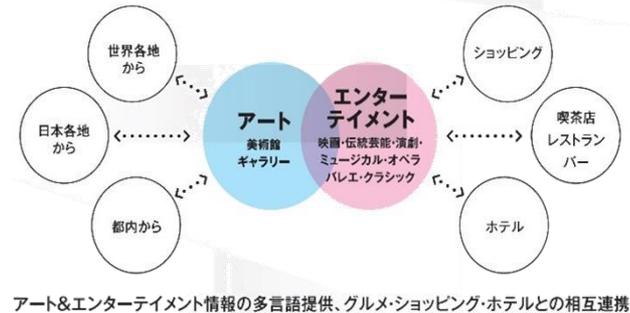
○ 全国、世界につながる“ 交通の要に ”

- 東京メトロ日比谷線と銀座線の交差を中心に、JR、都営地下鉄から成田、羽田へ。

「東京アート&ライブシティ構想」が目指す“まち”

○ 「世界一の文化都市」の核となる“まち”

日比谷・銀座・築地エリアが、日本固有のアート&ライブ&グルメの複合拠点として、世界から認識され、イメージされ、国内外からの来街者、観光客が楽しむ“まち”になること。



○ 文化芸術が豊に息づく“まち”

劇場、ライブスポット、ギャラリー、映画館の活動がさらに充実し、集積が拡張し、多様、多彩な創造的活動が活性化し、豊かに展開される“まち”になること。

○ 日本の新たな文化観光イメージをつくる“まち”

観光客の劇場・音楽鑑賞率は4.5%、次回、来日時の鑑賞希望は二倍以上 (JNTOデータブック2017)の潜在力を有している。自然や文化財を中心としてきた日本の観光イメージに、日本固有の文化芸術の魅力を加え、多様な日本の文化を発信する“まち”になること。

○ 多言語の情報整備・発信、WEBサイトの構築

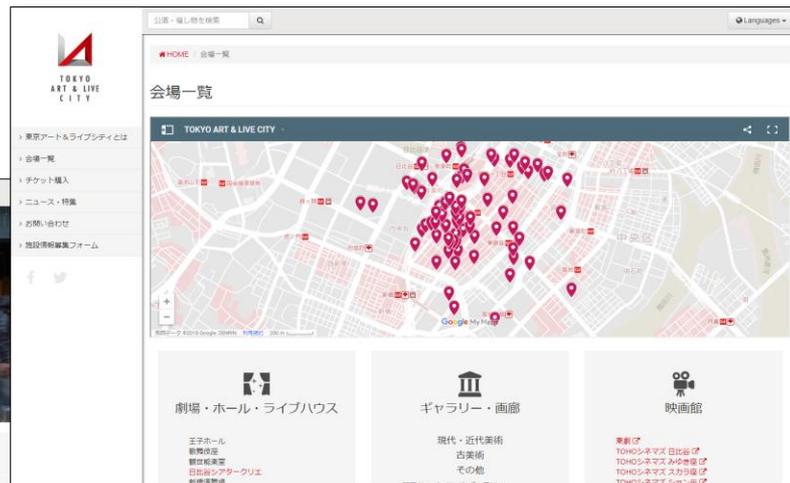
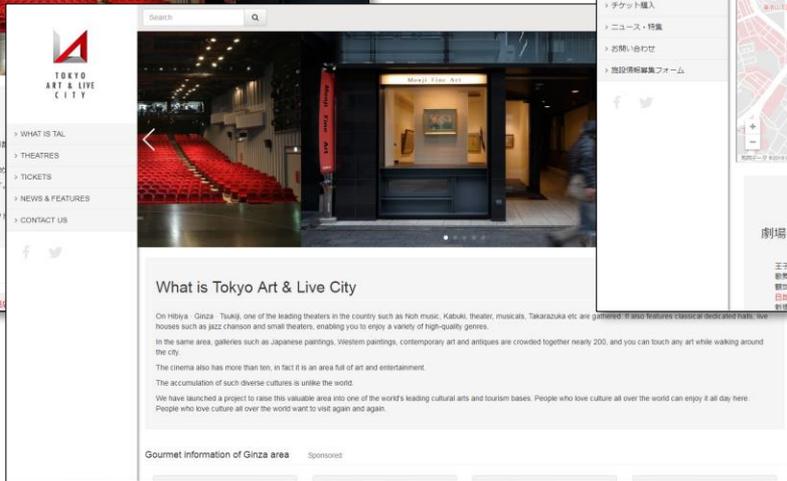
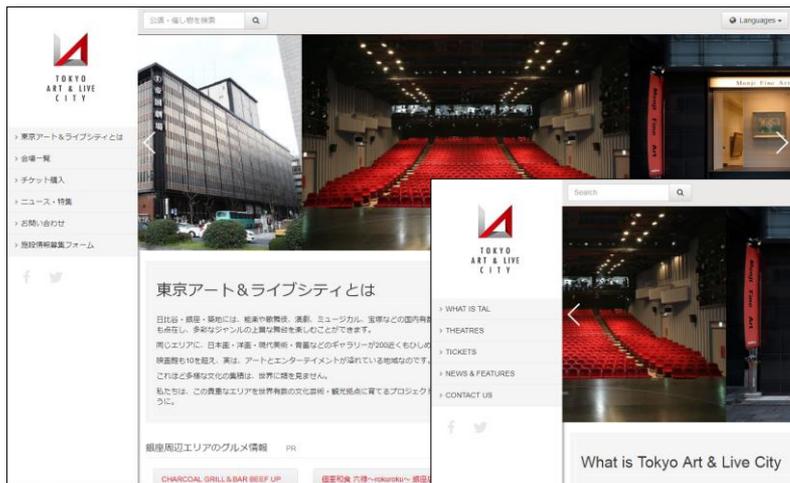
- ▶ 多言語によるアート・ライブ情報へのアクセス環境を整備
(初年度は日本語、英語での情報発信／2019年から多言語化)
- ▶ 訪日前、訪日中の観光客に向けた芸術情報の発信強化
- ▶ チケット販売への導線を構築
- ▶ ホテルとの連携
- ▶ アート&ライブシティWEBサイトが各芸術拠点のプラットフォームとして機能

○ 美、知、食、遊を提案 共同事業の実施

- ▶ アート・ライブ拠点の連携による共同イベント
- ▶ グルメやショッピング拠点との連携企画
- ▶ 集積だからこそ出来る多様な選択肢、
“芸術散歩” ”ナイトタイム”の楽しみ方の提案

分野を超えた街ぐるみの連携による補完・相乗効果を生み出す

東京アート & ライブシティとは = WEBサイトの構築



○ 美、知、食、遊を提案 共同事業の実施

- ▶ アート・ライブ拠点の連携による共同イベント
- ▶ グルメやショッピング拠点との連携企画
- ▶ 集積だからこそ出来る多様な選択肢、“芸術散歩” ”ナイトタイム”の楽しみ方の提案

(1) 「東京ミッドタウン日比谷『Hibiya Festival』」

- ・ WEBサイトで「Hibiya Festival」 広報を展開
宮本亜門プロデュース・オープニングセレモニー (4/26) The Stage (4/27-5/6) 公演
- ・ 『Hibiya Step Show with Tai』 (4/27-5/6) の実演芸術プログラム実施
- ・ 「芝生広場」 「ストリートパフォーマンス」 も展開



©2015 Kenji Yanobe, Sebastian Masuda



(2) 東をどり × 画廊の夜会 一日芸術巡りツアーなど企画

- ・ 新橋芸者衆の踊り料亭の食を楽しめる「東をどり」(5/24-27)
- ・ 「画廊の夜会-ギャラリー巡りとBarツアー」(5/25)
- ・ 「東をどり」×「画廊の夜会」を楽しむ芸術三昧ツアーを実施(5/25)



東をどり写真:公文健太郎

(3) 「オータム銀座」へのご協力

時期：10月末～11月3日頃

①銀座ファッションウィーク（GFW）への協力（10月末）。

②銀茶会

③新富座子供歌舞伎（外国人向けワークショップの実施など）

各連携を検討中